

呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について（報告）

1 総合戦略改定の趣旨

特色ある地域資源を活かした新たな魅力・価値の創造による雇用創出や子育て・子育てしやすい環境づくり、魅力的な住生活環境の創出などを通じて若年層の市内定着や出生数の増加を図り、人口減少を抑制することにより、将来にわたり豊かで活力あふれるまちづくりを推進するために平成28年3月に策定した「呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」といいます。）について、平成30年度当初予算を踏まえ改定しました。

また、くれワンダーランド構想の方向性と総合戦略で掲げる若年層の定着を目指す方向性は重なっていますので、総合戦略で取り組んでいる施策にくれワンダーランド構想に沿った考え方を盛り込んでいます。

2 平成30年度当初予算を反映したローリング

(1) 追加・拡充した事業（新規4事業，拡充11事業）

①働きやすさの向上（しごとづくり）

産業や消費を支える若い世代の定着等による更なる活性化を図るため、呉の特性（呉らしさ）を活かした雇用創出に積極的に取り組んでいきます。

・（新）新産業団地造成の検討	500万円
・（新）起業家支援プロジェクト	60万円
・（拡）中小企業の新製品・新技術開発支援	8,020万円
・（拡）産地育成・地産地消の推進	647万円
・（拡）観光資源のブラッシュアップ	9,450万円
・（拡）インバウンドの推進	1,339万円
・（拡）日本遺産を活用した呉の魅力発信事業	2,957万円
・（拡）新規漁業就業者への支援	470万円
・（拡）障害者就労支援体制の充実	200万円
・（拡）呉市中心部回遊性向上機能の整備	2,000万円

②育てやすさの向上（ひとづくり）

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子どもと子育て世代でにぎわうまちを創り出すため、子育て・子育てしやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

・（新）タブレットを活用した教育の推進	438万円
・（拡）妊娠期から子育て期にわたる包括支援	2,504万円

③暮らしやすさの向上（まちづくり）

多くの市民に呉市を定住の地として選択してもらうとともに、呉市への移住を促進し、多世代がにぎやかに暮らせるまちを創り出すため、魅力的な住生活環境の創出に積極的に取り組んでいきます。

・（新）緩やかなお節介事業	90万円
・（拡）地域おこし協力隊の受入れ推進	2,942万円
・（拡）定住サポートセンターの充実	156万円

(2) ローリング後の事業数・事業費 (H27～H31)

- ローリングの結果、計画期間中の概算事業費全体額は約 160 億円
- 平成 29 年度末現在の執行額は約 85 億円

基本目標	事業数					事業費(億円)		進捗状況(億円)		
	追加事業	既存事業				合計	H27～H31 (①)	内H30年度	内 H27～H29年度	
		拡充	継続	完了	小計				執行額 (②)	全体進捗率 (②/①)
働きやすさの向上	2	8	21	2	31	33	63.1	16.5	33.5	53.1%
育てやすさの向上	1	1	13	2	16	17	45.1	16.7	21.1	46.8%
暮らしやすさの向上	1	2	19	2	23	24	51.3	10.5	29.8	58.1%
合計	4	11	53	6	70	74	159.5	43.7	84.4	52.9%

3 重要業績評価指標 (KPI) の修正

【基本目標 1】働きやすさの向上 (しごとづくり) ア 産業の競争力強化

項目	修正前	修正後	修正理由
(ア) 農水産品のブランド力向上 (H27～H31)			
・新たな販路開拓数	200 件	230 件	ほぼ目標を達成したため。H27～H29 実績：199 件

修正前	修正後	修正理由
(エ) 6次産業化の推進	(エ) 多様な事業者との連携による商品化等の推進	目標設定時に6次産業化に加え、多様な事業者との連携による商品化に関する取組も含んでいたため実態に即した名称に修正
・6次産業化事業数	・多様な事業者との連携による商品化等の品目数	

【基本目標 2】育てやすさの向上 (ひとづくり) ア 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

項目	修正前	修正後	修正理由
(ア) 結婚の応援 (H27～H31)			
・結婚支援事業参加者のカップル成立数	63 組	97 組	目標を達成したため。H27～H29 実績：65 組
(エ) 子育て世代包括支援センターの整備 (H28～H31)			
・子育て世代包括支援センターにおける相談件数	800 件	1,800 件	ほぼ目標を達成したため。H28～H29 実績：780 件

【基本目標 3】暮らしやすさの向上 (まちづくり) イ 定住・移住促進

項目	修正前	修正後	修正理由
(イ) 空き家の利活用促進 (H27～H31)			
・空き家バンク登録物件の成約件数	70 件	100 件	ほぼ目標を達成したため。H27～H29 実績：62 件

4 目標達成状況等

<評価基準>

評価	KPI指標の平成29年度末までの達成率
◎	全ての項目で60%を超えている
○	一つ以上の項目で60%を超えている
△	全ての項目で60%を超えていない
—	達成率が算出できないもの

※総合戦略の計画期間5年のうち3年終了時点のため、達成目標は60%を基準とする。

【基本目標1】働きやすさの向上(しごとづくり)

(1) 「呉らしさ」を活かした雇用創出の方向性

指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
20～30歳代の「仕事」理由の転出超過数	3分の2改善 (H25 : △265→H31 : △90)	人	3分の1 改善 △153	4分の1 改善 △203	△591	—	—
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 20～30歳代の「仕事」理由の転入者は、1,178人と昨年の1,318人に比べて140人減少している。また、「仕事」理由の転出者は、1,769人と昨年の1,521人に比べて248人増加している。 20～30歳代全体の転入者3,201人（前年比：△354人）、転出者4,182人（前年比：+124人）となっており、特に転入者が減少している。前年と比較すると長崎県（△133人）、神奈川県（△53人）、広島市（△30人）からの転入者が減少し、転出者では、長崎県（+181人）、神奈川県（+16人）、江田島市（+11人）への転出者が増加している。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内への定着に向けて、企業立地の推進や企業の新製品・新技術開発支援、小売業の新規出店支援などを実施し、雇用の創出に向けた取組を進める。 						

(2) 具体的方策

ア 産業の競争力強化

(ア) 農水産品のブランド力向上

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> 農水産品のブランド化推進（広カンラン、オニオコゼ、オリーブ等のブランド化推進等） 農水産品の販路拡大 農水産業を支える基盤の整備（漁場整備等） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①新たな販路開拓数（累計）	H27～H31：200 （平成30年度改定で230に変更）	件	113	52	34	199	99.5%
②呉の特産として認知する市民が50%を超える農水産品数	H26：3 → H31：8	品	- (H31調査予定)				
評価	現状と今後の方向性						
○	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販路拡大は平成28年度から、かき・呉産酒米で醸造した日本酒・広カンランに絞ったことと開拓先を首都圏から広島市などの近隣都市にしていることから新たな販路開拓件数は減っている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高単価取引と生産量が見込める品目を中心として、引き続き販路拡大を進める。 広カンランは通常のキャベツに比べ高値で取引される収益性が高い作物であるが、作付面積を増やしてきたものの需要に対して生産量が少なく追いついていないため、販路拡大とともに生産量拡大の取組を進める。 ブランド化推進等により生産者の所得向上や遊休農地の解消を図り、稼げる農業となることを目指す。 						

(イ) ものづくり技術の高度化促進

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> 積極的な企業誘致・留置活動の展開（企業立地の推進，本社機能の移転等促進，市内企業の設備投資促進等） 新産業・新技術開発へのチャレンジ支援（産学官連携による新製品・新技術の開発支援，地域産業の活性化支援，医工連携の推進等） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①産業団地への新たな立地企業数（累計）	H27～H31：10	社	2	7	4	13	130.0%
②新たな設備投資に伴う新規雇用従業員数（累計）	H27～H31：240	人	30	54	32	116	48.3%
③新製品・新技術開発支援件数（累計）	H27～H31：80	件	18	18	21	57	71.3%
評価	現状と今後の方向性						
○	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業団地がほぼ完売するなど企業の立地を増加させることができた。また今後，立地した企業の工場等の稼働による雇用の増加も見込まれる。 中小企業における新製品等の開発件数は，公益財団法人くれ産業振興センターの支援により増加傾向である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致等の助成制度のPRをするとともに新たな産業団地の検討を始める。 中小企業の雇用・技術開発等のチャレンジに対して支援する。 						

(ウ) サービス産業の魅力向上

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> 都市ブランド力の向上（呉市中心部回遊性向上機能の整備，呉駅前地区の再整備の推進，日本遺産を活用した呉の魅力発信事業，観光プロモーションの展開等） 魅力ある観光・商業環境の創出（商業施設等の活性化支援，周遊・滞在型観光の推進，観光資源のブラッシュアップ，インバウンドの推進等） 								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①新規出店件数・島しょ部における新サービス実施件数（累計）	H27～H31：80	件	28	27	18	73	91.3%	
②入込観光客数	H26：308 → H31：340	万人	336	336	H30.7 公表予定	—	—	
③1人当たり観光消費額	H26：6,061 → H31：6,370	円	6,087	6,162	H30.7 公表予定	—	—	
評価	現状と今後の方向性							
○	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本遺産を活用した魅力発信やインバウンドの推進などを行うことにより入込観光客がおおむね堅調に推移している。 観光消費額については，呉海自カレーのシールラリーなど周遊滞在型観光の施策や新たな店舗の出店等の取組を行っているが，より一層の取組が必要な状況である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 呉市中心部の回遊性を向上させるため，日本遺産の活用や魅力的な小売店等の出店支援を行うとともに，青山クラブ等の保存・活用を検討する。 今後も全国的に外国人観光客の増加が見込まれており，外国人を含めた周遊滞在型観光を進めるとともに，観光資源をブラッシュアップしていく。 							

(エ) 多様な事業者との連携による商品化等の推進

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> 特色ある地域資源を活かした新たなプロジェクトの推進（呉市産酒米の増産推進，【再掲】農水産品のブランド化推進等） 								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①多様な事業者との連携による商品化等の品目数（累計）	H27～H31：5	件	0	0	2	2	40.0%	
評価	現状と今後の方向性							
△	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酒米，広カンラン，オリーブ，レモン，カキの5品目について，多様な事業者との連携による商品化等を目指しており，酒米，広カンランについては目標を達成することができた。 酒造好適米の苗の購入助成により，酒米の増産（生産量：10㍓）ができ，呉市産の酒米を活用する酒造メーカーを1蔵増加させることができた（2蔵→3蔵，約4,500本製造）。 広カンランの規格外品の加工品の開発に取り組み，商品化（2社）につなげることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の品目（オリーブ，レモン，カキ）も，生産者と加工業者や販売業者と連携し取組を推進する。 							

イ 人材の発掘・育成

(ア) 新規農業・漁業就業者の支援

主な事業							
・新規農業・漁業就業者支援（新規就業者の着業・定着支援，シルバー漁師の育成等）							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
新規農業・漁業就業者数（累計）	H27～H31：30	人	4	6	5	15	50.0%
評価	現状と今後の方向性						
△	【現状】 ・新規農業就業者は，農地の確保ができない，また，技術習得に一定期間を要するなど，短期間での安定した収入の確保が難しいため，希望者が少ない現状がある。 ・新規漁業就業者は15人の目標に対して11人が就業しており，毎年度順調に伸びている。						
	【今後の方向性】 ・引き続き新規就農者の経営安定化を支援する新規就農者総合支援事業の広報に努め，制度の浸透を図るとともに，就農者の収入増加に向け農地集積や技術向上を図るため，関係機関と連携しながら対応する。 ・新規漁業就業者支援については毎年一定の希望者がおり，着実な就業に結び付いている。今年度はシルバー漁師研修の拡充を行うなど，今後とも新規漁業者への支援を継続していく。						

(イ) ものづくり人材の育成

主な事業							
・雇用拡大・創業へのチャレンジ支援（創業支援の充実，地域雇用の創造支援（雇用拡大セミナー等），呉の産業マイスターの表彰等）							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①創業支援事業計画・実践型地域雇用創造事業に基づく新規雇用者数・創業者数（累計）	H27～H31：735	人	281	242	H30.7 公表予定	523	71.2%
評価	現状と今後の方向性						
◎	【現状】 ・求職者を対象にした人材育成を行うとともに，企業側にも雇用拡大のためのセミナー等を行ったことにより新規雇用者が増加している。 ・経済団体，金融機関などの創業支援事業者と連携し，個別相談などの支援を行ったことにより創業者数が堅調に推移している。						
	【今後の方向性】 ・企業向けのセミナーについては，企業のニーズをヒアリングし，平成30年度から内容の見直しを行う。 ・平成30年度から，クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した起業家支援プロジェクトを始める予定であり，若者や女性の創業起業に対するチャレンジを支援していく。						

(ウ) サービス産業人材の育成

主な事業							
・多様な人材の活用（奨学金制度による福祉人材（介護・保育）の確保・養成の推進，医療人材（看護）確保・養成奨学金の創設の検討，障害者の就労施設における共同作業の推進等）							
目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①福祉医療人材（介護・看護・保育）確保・養成奨学金制度の創設		H29制度創設（介護・保育）					
評価	現状と今後の方向性						
○	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に福祉人材（介護・保育）の確保のための奨学金制度を創設した。 制度について社会福祉施設に対する説明会を実施し，社会福祉施設から3件問合せがあり，そのうち1施設が制度を設けたが，大学生の利用申請までに至っていない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護の奨学金制度については，地域ニーズや既存の奨学金制度の調査・研究を行い，今後の方向性を検討する。 社会福祉施設及び大学に周知するとともに，福祉施設の人材不足の状況を把握する。 						

ウ 情報発信の強化

(ア) 呉らしさの発信

主な事業							
・シティプロモーションの推進（総合的なシティプロモーションの展開，呉の産業PR事業の推進，定住・移住情報の発信等）							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①呉市内に就職した地元高校生の割合	H26：60 → H31：65	%	55	53	H30.6 公表予定	-	-
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 呉氏を活用したシティプロモーションを展開し民間企業によるグッズが50種類を超えるなど，企業や市民へ浸透してきている。 地元での就職者を増やすため呉の産業PR事業を実施しているが，若者が希望する事務職・販売職等の職種の採用が少ないことや，大企業の本支店の採用枠が増えたことにより市外へ就職する人が増えている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 呉市へ来てもらう，移住してもらえるよう，シティプロモーションを実施する。 高校生及び大学生の地元就職につながるように，呉の産業のPRを実施する。 						

【基本目標2】 育てやすさの向上(ひとづくり)

(1) 子育て・子育てしやすい環境づくりの方向性

指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
年間出生者数	H25:1,717 → H31:1,800	人	1,588	1,506	H31.1 公表予定	—	—
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】 ・年間出生者数は、若年女性の減少や未婚化・晩婚化の影響により毎年減少している。</p> <p>【今後の方向性】 ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援をするとともに、子育て環境や教育環境の充実に向けた取組を進める。</p>						

(2) 具体的方策

ア 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

(ア) 結婚の応援

主な事業							
・結婚支援の推進（結婚支援（若者交流セミナー、婚活事業の助成等））							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①結婚支援事業参加者のカップル成立数（累計）	H27～H31：63 （平成30年度改定で97に変更）	組	14	22	29	65	103.2%
評価	現状と今後の方向性						
◎	<p>【現状】 ・平成28年度から民間事業者・団体を選考し、若者のニーズにあったセミナーを実施することで、既に目標値に達している。</p> <p>【今後の方向性】 ・目標期間内において、結婚支援を行う民間事業者の増加を図り、民間主導の取組へとつなげていく。</p>						

(イ) 妊娠・出産サポートの充実

主な事業							
・妊娠・出産サポートの充実（妊産婦の健康診査・保健指導等の充実（歯科健康診査，風しん予防接種助成等），不妊治療医療費の助成等）							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①妊婦に対する子育て支援プランの作成・保健指導実施率（H28から実施）	H31：100	%		100	100	—	—
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】 ・子育て世代包括支援センター「えがお」において，全ての妊婦に妊娠・出産に向けた支援情報を提供し，妊娠中の生活などについて保健指導を実施しており，妊娠時からサポートするきっかけづくりができています。</p> <p>【今後の方向性】 ・母子手帳交付時の保健指導を続けるとともに産婦健診など産後の支援も充実させ，妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行っていく。</p>						

(ウ) 子どもの健やかな育ちの応援

主な事業							
・乳幼児の健康づくり支援や集いの場の充実（乳幼児の健康診査，遊育空間の整備（低年齢児用遊具の設置），地域子育て支援拠点の充実），男性の子育て参加の促進							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①地域子育て支援拠点数（累計）	H26：9 → H31：12	箇所	0 (9)	1 (10)	0 (10)	1 (10)	33.3%
評価	現状と今後の方向性						
△	<p>【現状】 ・乳幼児の集いの場の充実をさせるため，ニーズ調査を基に地域的なバランスを考慮しながら確保計画数を目指し，地域子育て支援拠点施設を増加させるため，事業者に働き掛けを行っているが，人材確保などが難しく増設につなげていない。</p> <p>【今後の方向性】 ・認定こども園へ移行予定の教育・保育施設等へ事業実施について働き掛けを行い，支援拠点施設の実施施設を増加させる。 ・地域団体が実施する子育てサロンなども活用してもらうように周知するなど，乳幼児の集いの場による子育て家庭の横のつながりを作る。</p>						

(I) 子育て世代包括支援センターの整備

主な事業								
・ 子育て世代包括支援センターによる妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援（総合相談、関係団体との連絡調整等）								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①子育て中にストレスを感じる親の割合	H25：87.4 → H31：82	%	(H31調査予定)					
②子育て世代包括支援センターにおける相談件数（H28から実施）（累計）	H28～H31：800 (平成30年度改定で1,800に変更)	件		230	550	780	97.5%	
評価	現状と今後の方向性							
○	<p>【現状】 ・平成28年10月に開設した子育て世代包括支援センター「えがお」は、設置当初の想定件数より多い相談が寄せられおり、保健師や助産師等に相談できる場が必要であったことが伺える。</p> <p>【今後の方向性】 ・妊娠から子育てまでの相談の場として周知し、多くの人に利用してもらい子育てしやすい環境作りを推進する。</p>							

イ 子育て支援

(ア) 子育て家庭の応援

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの充実（24時間サポート体制の推進等） ・保育サービスの充実（病児・病後児保育，認可保育施設等への支援の充実等） ・放課後児童会の充実（高学年児童の受入れ，民間放課後児童会の充実等） ・乳幼児等医療費助成の充実（通院：就学前まで→小学6年生まで，入院：小学6年生まで→中学3年生まで） 								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①ファミリー・サポート・センター利用件数	H26：2,107 → H31：2,300	件	2,032	2,059	1,958	—	—	
②病児・病後児保育実施施設数（累計）	H26：2 → H31：4	箇所	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0%	
評価	現状と今後の方向性							
△	<p>【現状】 ・ファミリー・サポート・センターの利用件数は、子どもの人口が減少している中でも平年並みの利用数である。平成29年1月から実施している24時間サポートも49件の利用がある。 ・病児・病後児保育の実施施設については、医師会，医療機関，教育・保育施設等と実施場所等について協議を行っているが、保育人材や保育スペースの確保が難しく増設に至っていない。</p> <p>【今後の方向性】 ・病児・病後児保育施設の増設については、地域的なバランスを考慮しながら人材の確保を含め増設に向けて関係団体と協議を進めていく。 ・子育て家庭を応援する事業について、今後とも子育て世代のニーズに合った事業展開を図っていく。</p>							

ウ 教育環境の充実

(ア) 小中学校教育の充実

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の更なる推進，豊かな感性と郷土を愛する心を育む教育活動の推進（ふるさと子ども夢実現事業，「ものづくり」体験事業の推進等） ・教育環境の充実（小中学校普通教室への空調設備の設置等） ・文化・スポーツ応援事業（全国規模の大会等において優れた成績を収めた生徒への報奨金交付） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①将来に夢や希望を持っている子どもの割合	小学生 H26：92.9→H31：95 中学生 H26：78.4→H31：80	%	小学生 93.4 中学生 78.8	小学生 91.6 中学生 76.1	小学生 93.4 中学生 78.6	-	-
②呉市（公共）への貢献意欲がある中学生の割合	H26：37 →H31：75	%	42.7	66.7	64	-	-
③小中学校普通教室への空調設備設置率	H26：0.4 →H31：100	%	-		小学校 0.6 中学校 100	-	-
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来に夢や希望を持っている子どもの割合」は，前年よりも増加しており，県内平均値（小学生：91.9%，中学生：75.8%）も上回っている。 ・日本体育大学との連携による呉の子どもの大学合宿への派遣，大学指導者・学生による技術指導などの本物体験を通じて，豊かな感性を育む教育の推進につながっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を基盤として，「ものづくり体験」や文化・芸術体験活動，トップアスリート・チャレンジ事業等の特色ある呉の教育を推進し，豊かな感性と郷土を愛する心を育むことにより，ふるさとに貢献しようとする意欲を醸成していく。 ・計画に従い小学校への空調設備設置を進めていく。 ・小中学校普通教室へ空調設備を設置し，児童・生徒の生理的・心理的な負担を軽減し健康的な学習環境を整備する。 <p>※中学校はH29年度設置済み</p>						

(イ) 高等学校教育の充実

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教育の充実（呉高等学校施設の耐震化（完了）・空調設備の設置等（完了）・教育備品のICT化の推進） ・【再掲】文化・スポーツ応援事業（全国規模の大会等において優れた成績を収めた生徒への報奨金交付） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①呉高等学校を志望する動機となった目標を達成した生徒の割合	H26：83.2 → H31：90	%	87	94	92.1	—	—
評価	現状と今後の方向性						
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的なボランティア活動への参加や、個に応じた自立・自尊の精神を育む指導の充実により、平成29年度において多くの生徒が目標を達成したと考えられる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境を充実させ、学習意欲や地域への愛着を高めることにより、生徒の目標達成を実現する。 						

【基本目標3】暮らしやすさの向上(まちづくり)

(1) 魅力的な住生活環境創出の方向性

指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
呉市を住みよいと感じる市民の割合	H26 : 70% → H31 : 80%	%	-					(H31調査予定)
評価	現状と今後の方向性							
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市を住みよいと感じる市民の割合については、平成31年度に調査を実施するため、達成状況を把握できていないが、それぞれの具体化方策ごとの目標の達成率や評価を踏まえると、順調に推移しているものより、達成率を下回っているものが多くなっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住・移住の促進に向けて、支援制度の周知や制度の見直しなどの検討を行い、利用促進を図っていく。 ・生活環境の充実として、健康寿命の延伸や地域生活拠点の機能充実に向けて、市民や地域団体の取組を引き続き支援していく。 							

(2) 具体的方策

ア 総合的な定住サポート

(ア) 定住・移住サポート機能の強化

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・定住サポートセンターの充実 (【再掲】定住・移住情報の発信、民間事業者・関係機関との連携強化、定住・移住後のサポートの充実等) 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①定住サポートセンター問合せ件数 (累計)	H27～H31 : 1,000	件	173	354	268	795	79.5%
評価	現状と今後の方向性						
◎	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京・大阪での定住イベントへの出展、定住・移住希望者に対する助成制度及び現地案内のサポートなどを周知することにより、定住サポートセンターへの問合せ件数は順調に増加している。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の自治体が移住促進をしている中で、呉市を選んでもらえるようなアプローチ方法を検討する。 ・東京や大阪で開催される移住・定住希望者に対する説明・相談会、呉市単独定住セミナー、人材紹介会社と連携した情報発信、現地案内、宿泊助成などを充実させ、市外からの問合せを増やし移住につなげていく。 						

イ 定住・移住促進

(ア) 定住・移住支援

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・新婚・子育て世帯の定住支援（中古住宅取得支援，親世帯との近居支援） ・移住希望者の住宅取得支援（中古住宅取得支援，新婚・子育て世帯支援，親世帯との近居支援，島しょ部移住支援等） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①若年層の住宅取得件数（累計）	H28～H31：200	件		27	28	55	27.5%
②移住希望者の住宅取得件数（累計）	H28～H31：80	件		22	15	37	46.3%
評価	現状と今後の方向性						
△	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に住む若年層の市の支援制度を利用した住宅取得件数が毎年度の目標に比べて少ない。中古住宅を取得した後に支援制度に関する問合せを受けることがあったことから，支援制度について周知されていない状況が考えられる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住・移住支援制度について，引き続き市政だより，ホームページ，金融機関，宅建業者を通じて周知に努める。 ・平成30年度に支援制度の見直しについて検討を行う。 						

(イ) 空き家の利活用促進

主な事業							
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの充実（空き家実態調査（完了），所有者意向調査（完了），空き家バンクへの登録促進） ・空き家の利活用支援（移住促進施設整備の支援，空き家家財道具等処分支援，学生シェアハウス支援等，【再掲】新婚・子育て世帯の定住支援，【再掲】移住希望者の住宅取得支援） 							
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率
①空き家バンク登録物件の成約件数（累計）	H27～H31：70 (平成30年度改定で100に変更)	件	12	19	31	62	88.6%
評価	現状と今後の方向性						
◎	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者に空き家の利活用等に関するチラシを送付するなどにより，空き家バンクの登録物件が増え，成約件数は順調に伸びている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住サポートセンターへの問合せが多い島しょ部では，各地区の自治会の会議で職員が空き家の情報提供依頼を行うなど，空き家バンクの新規登録物件を増やす取組を進める。 						

ウ 生活環境の充実

(ア) 健康寿命の延伸

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの健康づくりの推進（地域総合チーム医療の推進，地域包括ケアシステムの推進，スポーツを通じた健康づくり等） ・呉市版生涯活躍のまち（CCRC）の検討 								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 （平均寿命－健康寿命）	（平均寿命－健康寿命） 男：1.09年(H25) 女：2.56年(H25)	年	男：0.94 女：2.34	男：1.09 女：2.55	—	—	—	
評価	現状と今後の方向性							
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の呉市の健康寿命は男性：1.09年，女性：2.55年であり，平成25年度と比べほぼ横ばいとなっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業として骨粗しょう症重症化予防，口腔ケア促進，がん検診を始め，受診機会の拡充・受診環境の充実を行うことにより，健康寿命の延伸を図っていく。 							

(イ) 地域生活拠点の機能充実

主な事業								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働によるまちづくりの推進（ゆめづくり地域協働プログラムに基づく自主的で自立した地域活動の支援，地域おこし協力隊の活用，子どもまちづくり事業等） ・公共交通ネットワークの確保（公共交通の運行支援等） 								
指標	目標	単位	H27	H28	H29	累計	達成率	
①まちづくり委員会等が取り組む新たな課題 解決への取組件数（累計）	H27～H31：20	件	6	4	1	11	55.0%	
②公共交通に対する市民の満足度	H26：16.2 → H31：25	%	— (H31調査予定)					
評価	現状と今後の方向性							
△	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり計画策定からおおむね10年が経過することから，各地区の実施事業の内容はおおむね固定化しており，新たな課題解決への取組の件数は鈍化している。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり計画の改定に係る経費の一部を助成することにより，社会情勢，地域実情の変化や，10年間の活動の成果・課題を踏まえた見直しを促進し，新たなまちづくりの取組の創出を支援する。 ・各地域が将来にわたり「豊かで活力あふれたまち」となるよう，地域が抱える様々な課題の解決のための自主的で自立した地域経営に取り組むことができるように引き続き支援する。 ・公共交通ネットワークについて，交通網形成計画の策定，公共交通の維持に向けた運行支援やバリアフリー化などに引き続き支援を行う。 							